

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設

第46回 季例会・公開講演会

宮島における大聖院の役割と歴史

令和元年

日時：12月16日 月 13:30～15:30

場所：文学研究科（文学部）
B104 講義室

講師：大聖院住職
吉田 正裕氏



無料



【概要】

今から1200年以上も前に弘法大師空海により開かれた宮島弥山。その弥山に今もなお燃え続ける消えずの火を守る宮島最古の寺院、多喜山水精寺大聖院。明治まで厳島神社の別当寺としてこの宮島を見守り続けてきた大聖院座主の役割と歴史をお話します。また、国宝「平家納経」がなぜ厳島神社に奉納されたのか、今なお垣間見ることのできる、平家一門が造営した厳島神社と神仏習合の歴史も紐解きます。